

## 令和2年度3学期修了式 R3.3.24 (水)

唐津西高等学校 校長 吉山耕一郎

令和2年度のスローガンは「One Step One Up One Team Nishi」でした。また、人間力を磨くために学期ごとの目標をあげていました。1学期は「明るい挨拶 気持ちの良い挨拶」あいさつは「明るく いつも さきに つづけて」です。2学期は「整理・整頓・掃除」(3S)

最後は、3学期は返事です。各自が責任を持って「はい」という返事でした。

どうですか？本年度を振り返って、これらのことを心がけて実行できましたか。人との出会いは、まず「明るい挨拶 気持ちの良い挨拶」で相手の心を開く、「はい」という「明るい 気持ちの良い」返事で自分の心を開く。「挨拶と返事は心のトビウを開く鍵」です。そして「整理・整頓・掃除」は開いた心を磨くことです。まさにこれが人間力・人間性の基本です。また、1年生の学年目標は、「新しい時代を生き抜く“土台づくり”」、2年生の学年目標は「継続」と「進化」で未来へ」でした。振り返ってみてどうでしょうか？少しでも各学期の目標や各学年の目標に近づけましたか？振り返ってください。是非、来年度もOne Step One Upで身に付けてほしいと考えています。

本年度は、夏に2020東京オリンピックがあり、本校ヨット部卒業生の岡田奎樹(けいじゅ)選手や南里研二選手の活躍にも期待するとともに、数々の感動の名勝負がたくさん観ることができ、華やかな1年が始まるとみんな思っていたと思います。

しかし、新型コロナウイルス感染症による2度の臨時休業によるオンライン授業や県総合体育大会の中止から代替大会SSP杯の開催、双松祭の短縮、そして大学入試の制度設計の変更などすべてこの1年はコロナで終わったと言っても過言ではありません。新型コロナウイルス感染症の収束は見通せていませんが、この感染症で「学校や先生、友人、家族との日常へ」の「期待と感謝」を感じたと思います。まさにA1の時代に「人間らしさ」「人間力」「人間性」の大切さを知ることができたと思います。

また、感染症の制限の中、色々な人との出会いがあったと思います。例えば学校での小論文対策や唐津地区の経営者などの講演会の講師の先生との出会いです。これから生きるための色々な教えや印象に残った言葉があると思います。最近では、小金丸泰山先生「こころの構造」で深層心理学の「良いことと悪いこと」は心の奥に入っていき、いっぱいになったらそれが溢れでていく。それが良いことなのか、悪いことなのか考えさせられました。また、ハナコフェアの西原さつきさんの「自分らしく生きていくこと」で「教えてくれてありがとう」「他の人のために頑張っていたら楽な気持ちになる」「無理と思ってもやり続けることが大事」とか色々な先生の話が聞けたと思います。是非、感想文とかで振り返りをお願いします。

さて、最後に明日からは春休みとなります。予定では、4月6日(火)始業式まで学校がありません。特に新3年生となる2年生は、共通テストまで10カ月、AO・推薦入試まで早くて4・5カ月で挑むことになります。この春休みは次学年への準備期間です。この時期にやれた人が進路実現に近づくチャンスを得ることができると思います。この春休みが、健康で充実したあることと元気に始業式に会えることを祈念します。